

42 破天荒

平成三十一年度版

創刊
第十六号

2 学年のスタートです

二学年主任 荒内 秀明

二〇一九年度が始まります。時代は、平成から令和へと変わっていきます。昇降口には、

「**変革せよ。変革を迫られる前に**」

と、掲げられています。

皆さんは、どんな四月を迎えましたか。

先月六日の進路講演会後に問うた、講演の三つのキーには、

- ① 振り返り
- ② 基礎・基本の大切さ
- ③ 次にどうするかを考える

を挙げていたものが圧倒的でした。

一方、十九日の大学合格体験発表会を受けての翌週に、「この週末に自分を

- ① 変えた
- ② 変えようと思った
- ③ 特に何もしなかった

の質問には、③は皆無、何人かは①、ほとんどが②でした。この結果の表すものは何か。保護者の皆さんも一考してください。

思うだけで自分を変えられるならば、何の苦労もないし、何の感動もないし、何の達成感もなければ、喜びを感じるなんてあり得ない。皆さんは、本当は分かっている。失敗しなければ、自分は成長しないことも。でも、物事は一度で済ませたい。失敗は人に見せたくない。結果、何も変わらない。だけど、自分は本当は変わりたいんだ。ならば、

変わる勇氣

を持てるようになった自分と出会う一年になろう。

やればできる

と言われるな

やっつてできることに気付いたよ

と言おう。

別れあり 出会いあり 2 学年学年団の紹介です

「みずから・・・」

二学年副主任 垣見 信三

二学年が始まりました。中堅学年です。生徒会、部活動、学校行事などあらゆる活動の柱となります。何事にも自分から取り組み、たくさん楽しみましょう。自分の目で見、自らの耳で聞く。自分から物事に関わり、行動する。そして感じ、考える。自らの経験を自分の言葉で語る。時に振り返る。このような活動を繰り返し、日々成長して行って欲しいと思います。

今春卒業した先輩も話してくれました。「自分が頑張ったことだけが本物。自分はこれだけ努力したという事実は消えない。この積み重ねこそが自信となり、困難を乗り越切った。」そうして新たな挑戦へとつながって行くものと思えます。

二学年副主任 坂本 佳耶

新学期が始まりました。新元号も決まり、新しい時代が始まりますね。この機会に皆さんの生活も新しいものに変えてみませんか？一度、今の生活を振り返ってみましょう。睡眠時間やスマートフォン等で遊ぶ時間、勉強時間。二十四時間を上手く使えているでしょうか？将来自由な時間を楽しむためには、今少し我慢することも必要です。「変えてみよう！」と思ったら、『明日やろうは馬鹿野郎』の精神で、今日から取り組んでみてくださいね。今年も皆さんと一緒に成長していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

基範意識

一組担任 前田 嘉暢

大切だからアンダーラインを引く、大切だから赤で書く。大切だからケースに入れる。人は自分にとって役に立つと思うものを目立たせる傾向があります。では、その「大切」という基準は何で決められているのでしょうか？おそらく、その先に繋がっていく可能性があるものではないでしょうか。二年生は大切なのか？1と3に挟まれている2は、両方を繋ぐ重要な架け橋です。1の上を行く「範」となり、未来の3へ襷を渡す「基」となる。

さあ、四十二回生一人一人が目立っていきましょう。皆がヒーローになる瞬間を拝見します。

そして私も腹を括って今年一年働きます。よろしくお願ひします。

二組担任 平地 悦子

昨年に引き続き今年もよろしくお願ひします。二年生が始まりました。気持ちを新たに取組んでいますか？この一年間相高で過ごして、みんなそれぞれに、色々な面で反省点や自分に足りない所があったと思います。今年も昨年の自分を超えられるようにしましょう。三月の合格体験発表会では、相高の先輩たちの受験直後の声が聞けて、とても有意義な時間になりました。『勉強がさっぱり分からん？』『絶対やっつけないって。毎日数ページずつ覚えることからせな。』受験勉強を終えた人が言う言葉には重みがありました。二年後を見据えて、自分のために努力してください。二年生は学校を引っ張っていく学年なので、各行事も期待しています。全力で楽しもう。お互い頑張ろう！！

三組担任 山本 真輔

はじめまして、神崎高校から転動してまいりました山本真輔と申します。前任校は兵庫県のほぼ真ん中に位置する神河町にあり、一学年二クラスの小規模な学校でした。ですので、一学年五クラスの相生高校の生徒数、職員数に圧倒されているのが現状です。私は縁を大切にしています。ご縁があつて四十二回生学年団に入ることができましたので、早く相生高校の環境に慣れて、授業や行事、部活動で君たちと楽しい学校生活をおくりたいと思います。さて、よくいわれることですが、二年生は学校の中心学年です。様々な場面で君たちの活躍を楽しみにしています。今日からよろしくお願ひします。

四組担任 山村 亨

県立大附属高校より着任しました山村と申します。数学を担当します。十年振りに相高に帰ってきました。とはいえ「十年一昔」とはよく言ったもので、昔の勤が戻るまで少し時間がかかるとは思います。逆にこれは四十二回生の皆さんとの信頼関係を構築するチャンスととらえ、自分なりに精一杯やっつけたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。モットーは「先憂後楽」です。しんどいことから逃げ出さず、積極的に立ち向かっていく姿勢で、充実した高校生活を送っていきましよう！

五組担任 山本 一芳

元号が令和に改正される節目の一年がスタートしました。この一年が、君たちにとつても節目となり、さらに飛躍していくことを願っています。そのために、何事にも知的好奇心を持ち、果敢に挑戦してください。知りたいという欲求こそ、私は成長するために大切な要素だと考えています。その欲求を持ち続けることは、意外と難しく、並大抵の努力ではできません。しかしながら、諦めずに継続していれば、成長する可能性は∞です。自分の未知の力を信じ、まずは身近なところから知りたいたいことを探してみよう。普段の生活や授業でさえ、理解できないことや知らないことが沢山ありませんか。身のまわりには、自分自身を成長させてくれるヒントが転がっているはずですよ。昨年度に引き続き、君たちと共に成長していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

平成三十二年入試結果

☆ 平成31年度 入試 (40回生・浪人) ☆
合格・進路結果報告

	現役	浪人	合計
国公立大学	65 (54)	9 (7)	74 (61)
私立大学	359 (94)	20 (4)	379 (98)
大学小計	424 (148)	29 (11)	453 (159)
進路大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国公立短大	3 (1)	0 (0)	3 (1)
私立短大	24 (8)	0 (0)	24 (8)
短大小計	27 (9)	0 (0)	27 (9)
専門学校	31 (19)	1 (1)	32 (20)
就職・公務員	1 (1)		1 (1)
留学・予備校	13		13

()内は実進者・就職者数 数字は延べ数

主要合格先

大学名	人数	大学名	人数
北見工大	3 (0)	高崎経済大	1 (1)
山梨大	2 (1)	都留文科大	1 (0)
神戸大	1 (0)	愛知県立大	1 (0)
兵庫教育大	3 (0)	富山県立大	1 (0)
岡山大	8 (1)	京都府立大	1 (0)
鳥取大	8 (3)	兵庫県立大	13 (0)
島根大	1 (0)	鳥取環境大	3 (1)
山口大	1 (0)	新見公立大	1 (0)
香川大	1 (0)	島根県立大	2 (0)
徳島大	3 (0)	尾道市立大	3 (0)
愛媛大	1 (0)	福山市立大	1 (0)
高知大	2 (1)	県立広島大	3 (0)
		山口県立大	1 (0)
		下関市立大	1 (1)
		愛媛県立医療技大	1 (0)
		高知工科大	3 (0)
		北九州市立大	1 (0)
		長崎県立大	2 (0)

＜私立大学＞

大学名	人数	大学名	人数
京都産業大	8 (0)	近畿大	17 (0)
同志社大	1 (0)	関西学院大	8 (1)
仏教大	8 (0)	神戸松蔭女子大	13 (8)
立命館大	3 (0)	甲南大	19 (0)
龍谷大	4 (2)	神戸学院大	67 (1)
大阪工大	30 (1)	神戸女科大	27 (0)
大阪経済大	5 (0)	神戸女学院大	2 (0)
関西大	8 (0)	武蔵川女子大	19 (0)
摂南大	5 (0)	姫路学院大	8 (0)
関西外大	4 (0)	姫路獨協大	15 (0)
大阪産業大	10 (0)	岡山理科大	13 (0)

＜専門学校＞

学校名	人数	学校名	人数
姫路市医師会看護	6 (0)	姫路医療附看護	3 (0)
姫路赤十字看護	5 (0)	相生市看護	4 (0)

＜就職＞

企業名	人数
民間企業	1 (0)

数字は延べ数・()内は浪人

四月以降の予定

- 九日(火) 八時十五分 直接体育館へ集合
(担任より指名された者は教室の戸締り)
離任式・対面式・生徒総会・LHR・身体測定・午後課題考査(数学)
生徒会役員選挙告示 ← 十一日まで
- 十日(水) 一〜三限(理系は四時間目まで)
課題考査(国語・英語)
- 十一日(木) 四限(理系は物理・生物、文系は授業)
五限 学年集会 六限 LHR
各種委員会
- 十二日(金) 野外活動 ペーロン競漕
ペーロン海館周辺
- 十五日(月) 七限補習開始
- 十七日(水) 文系は数学、四組は英語、五組は国語
生徒会立会演説会&選挙
小テスト開始
- 二十三日(火) 詳細は各教科の連絡に注意

保護者の皆様へ

連絡網システム「ラインネット」の登録のお願い
配布用紙にしたがい、四月十日までに登録をお願いします。
メールアドレスを変更されて再登録の必要が起きた場合のために、配布した用紙を捨てずにお持ちください。

前号でお話した、平成三十年入試結果の詳細です。

四十回生をはじめ先輩方は、努力、こだわりのその先にある相高生の可能性を示し、勇気を与えてくれました。ならば、皆さんは、それをどう受け取り、どう生かしていきますか。

「思う以上に行動せよ」
泥臭く、日々の努力を積み重ね、自分の可能性にいち早く気付くために、自ら動き、やるべき次の行動を経験していきましょう。

「努力は人のためにあらず」